

日本共産党藤沢市議会議員団は、平成28年度藤沢市一般会計予算及び北部第二(三地区)土地区画整理事業費特別会計予算ほか4特別会計予算案に反対し、その他の会派は全予算案に賛成しました。

予算に対する各会派の要望・意見

困難抱えた子どもに寄り添った支援をかわせみクラブ 6人

①市政運営を担う職員のみならず、市民が安心して暮らすためには、関係部門が連携できる体制づくりを。②市民会館の機能維持のため、予防保全の考えのもと必要に応じて大規模修繕を。③文化芸術振興施策に関する計画等の策定について前向きな取り組みを。④江の島島内のバリアフリー化は、障がい者や高齢者等の意見を聞き、課題共有しながら進めること。⑤民間企業における

家庭防災の日を定め 防災意識の向上を 藤沢市公明党 6人

①今後の財政運営はますます厳しくなるため、公会計改革を行い特定財源の確保、基金の積み立てなどに取り組むこと。②ふるさと納税は、シティプロモーションの考え方も取り入れ早急に対応を。③家庭防災の日を設定して防災意識を高めること。④自転車の交通安全の推進に向け、警察との連携強化や安全教室の拡充を。⑤交通渋滞緩和のため、レンタルサイクル導入の検討を。⑥国が進めるロボット産業の実証実験に本市の企業などが積極的に参加できるように支援を強化すること。⑦子ども

の貧困対策として、学習支援の拡充を。⑧子育て支援情報の提供は、各個人に応じたきめ細かい発

合理的配慮についても周知啓発を。⑥ジョブチャレふじさわのノウハウを共有して庁内の障がい者雇用につなげる。⑦藤沢市周辺のまちづくりは、関係部門が連携できる体制づくりを。⑧市民会館の機能維持のため、予防保全の考えのもと必要に応じて大規模修繕を。⑨文化芸術振興施策に関する計画等の策定について前向きな取り組みを。⑩困難を抱える子どもへの支援の中で、家族の介護をしている子どもの存在を認識し、寄り添った支援を。⑪難病の児童生徒に寄り添う姿勢を持ち、

信に努めること。⑨子どもたちの安全安心な通学路の確保に責任を持って対応を。⑩高齢者が生き生きと生きることが

できる藤沢地域包括ケアシステムの構築を。⑪がん検診の受診率の向上に向け、リコール事業の対象拡大と周知を強化するとともに医療機関の診療時間等の拡大にも取り組むこと。⑫ペットボトルの毎週回収の早期全市実施を。⑬非正規社員の待遇改善を促すキャリアアップ助成金の周知拡大を。⑭安全安心な地場野菜の生産を支える農業の担い手支援と新たな六次産業の商品開発に向けた支援を。⑮キュンとするまち藤沢のテーマソングのダンスは、高齢者施設や障がい者施設を訪問するなど全ての市民が楽しく一体感が持てる取り組みを推進すること。

正しい知識を得るための研修を実施すること。⑫教職員のストレスチェックは実効性のある取り組みに。⑬教員の負担軽減とセキユリティー確保のため、小学校における情報機器整備を早急に行うこと。⑭病児保育の実現に向けて課題解決に取り組むこと。⑮中高生の居場所づくり事業の拡大を。⑯教科書採択においては、現場の教員による調査分析の結果が生かされる仕組みづくりを。⑰ふじさわ教育大綱は、さらに議論を深めて策定すべき。

ポイント制度 商店街での利用を 自民クラブ藤沢 5人

①東京オリンピック開催に向け、江の島周辺住民の説明会や意見交換を行う。②課題が出た場合は十分尊重すること。③地区ボランティアセンター連絡協議会でのさまざまな声をボランティアの充実につなげる。④キュンとするまち藤沢ロゴマークを市民が広く自由に使用できるための検討を。⑤ご当地ナンバープレートのさらなる拡大を。⑥地域の縁側は適正に配置し、運営母体の選定

抜本的な見直しを 自由松風会 6人

①地域経済の活性化に向け、元氣バザールのバージョンアップを。②ふじさわ宿交流館と藤澤浮世絵館は、費用対効果を検証し、郷土愛を象徴する取り組みとすること。③市民センター・公民館が中心となり、住民協働による十三地区主体のまちづくりを進めること。④積極的に自主財源の確保を図るなど、将来にわたる持続可能な財政構造を確立すること。⑤シティプロモーション事業の全般について、廃止を視野に抜本的に見直す。⑥資源収集事業の委託拡大について、藤沢市興業公社など民間活力への拡大を検討すること。⑦藤沢型地域包括ケアシステムは、市民に安心感として届ける未来に向けた基

盤として構築すること。⑧ロボット産業の推進事業に多面的に取り組む、介護現場での充実化や国際戦略化につながる事業を拡充し、未来に向けた元氣なまちづくりを進めること。⑨旅行形態が個人旅行へ推移している外国人観光客に向け、提案型の観光案内を推進すること。⑩遠藤葛原線を中心とする各種道路は、パランスの取れた各地区の発展のため、財政計画を考慮し整備に努めること。⑪藤沢市歌は、全ての小中学校で歌えるように教えるべき。⑫子どもの健全な成長のために何をすべきかを考え、子ども

国民健康保険料 引き下げるべき 日本共産党藤沢市議会議員団 4人

①公共施設の再整備について、まだ耐用年数が残っている施設は複合化による整備対象とせず、古い施設から順次市民の意見を反映させて整備すべき。②国民健康保険料は最低でも一人当たり一万円引き下げるべき。③認可保育所を計画的に増設

一色川整備計画 期間短縮の工夫を さつき会 3人

①財政の健全性を維持し、市民ニーズに的確に応えられる市政運営を。②三谷戸以外の市内緑地保全についても早急な取り組みを。③学校現場においては、子どもたちに寄り添った対応の充実、強

にわたっては慎重に行うこと。⑥市民農園の南北の利用格差解消を。⑦ビオトープの維持管理には若い世代のボランティアが必要のため、養成事業の拡充を。⑧兄弟姉妹が同じ保育所に入れるシステムの導入を。⑨超高

大規模公共施設でも 木造の積極採用を 市民派クラブ 1人

①公共施設の再整備に当たっては、木造も比較検討して積極的に採用し、それに伴い再整備のあり方を再検討すべき。②学校が管理主義にならないよう、できるだけ一学級の人数を減らし、能力別

病児保育施設の設置 好機を捉え推進を 藤沢市民と歩む会 1人

①国の病児保育施設の整備費に対する補助金創設を好機として、施設の設置を進めること。②小児医療費助成制度について、利用者の一部負担金を設けることで減少する助成費を、教育費等の子育て支援に充てることの影響を調査し、導入の検討を。③児童支援担当教諭を一

にわたっては慎重に行うこと。⑥市民農園の南北の利用格差解消を。⑦ビオトープの維持管理には若い世代のボランティアが必要のため、養成事業の拡充を。⑧兄弟姉妹が同じ保育所に入れるシステムの導入を。⑨超高

財政難への対応 再び給与の削減を ふじさわ維新 1人

①これまで四年間で実施した職員給与の独自削減は道半ばであり、厳しい財政の中で捻出した削減分二十億円は、子どもの教育費に引き当てること。

財政の健全化の鍵は 情報公開と住民協働 アクティブ藤沢 1人

計画中の建設事業を全て行うと充分可能な一般財源はあと数年でマイナスになると推測される。長期的財政と人口動態等を公表し、公共施設再整備

にわたっては慎重に行うこと。⑥市民農園の南北の利用格差解消を。⑦ビオトープの維持管理には若い世代のボランティアが必要のため、養成事業の拡充を。⑧兄弟姉妹が同じ保育所に入れるシステムの導入を。⑨超高

児童福祉施設 好機を捉え推進を 藤沢市民と歩む会 1人

①国の病児保育施設の整備費に対する補助金創設を好機として、施設の設置を進めること。②小児医療費助成制度について、利用者の一部負担金を設けることで減少する助成費を、教育費等の子育て支援に充てることの影響を調査し、導入の検討を。③児童支援担当教諭を一

大規模公共施設でも 木造の積極採用を 市民派クラブ 1人

①公共施設の再整備に当たっては、木造も比較検討して積極的に採用し、それに伴い再整備のあり方を再検討すべき。②学校が管理主義にならないよう、できるだけ一学級の人数を減らし、能力別

にわたっては慎重に行うこと。⑥市民農園の南北の利用格差解消を。⑦ビオトープの維持管理には若い世代のボランティアが必要のため、養成事業の拡充を。⑧兄弟姉妹が同じ保育所に入れるシステムの導入を。⑨超高

の授業とクラス単位の活動とを組み合わせるなど、さまざまな個性に対応でき個人が尊重される教育のあり方を目指す。③市職員の給与については、市民から厚遇と思われない給与水準を目指していくべき。(以上、各会派の要旨を掲載)